

平成22年3月新規学校卒業者の
採用枠の確保・拡大に関する要請書

労働行政及び県政の推進につきましては、日ごろ格別の御支援、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。また、新規学校卒業者の就職促進等に御尽力を賜り、改めてお礼申し上げます。

さて、県内の雇用情勢については、9月の有効求人倍率が0.39倍と過去最低水準にあり、平成22年3月新規学校卒業者の就職環境は非常に厳しい状況となっております。とりわけ、高校卒業者につきましては、9月末現在の県内就職希望者3,916人に対し、県内求人は2,748人で前年同期に比べ44.3%減少し、求人倍率は0.70倍で前年同期を0.40ポイント下回っております。また、就職内定率は23.6%で前年同期を13.0ポイント下回っており、未就職卒業者の増加が危ぐされるところであります。このことは、本人にとっては将来の夢や希望をかなえるために努力してきたことが報われず、家族にとっても大きな失望と将来への不安を抱かせるものであります。さらには、少子化の時代にあって、若い貴重な人材の確保が円滑に進まないことは当県の産業や社会にとっても大きな影響を及ぼすものと考えるところです。

このため、宮城県では企業誘致による雇用創出を、宮城県教育委員会ではキャリア教育の充実を、宮城労働局では求人開拓から職場定着までの一貫した支援に取り組んでいるところです。こうしたなか、先般、宮城県、宮城県教育委員会及び宮城労働局による「緊急新規高卒者就職対策三者会議」を開催し、早期に安定した就職先を確保できるよう、万全の対策を講ずることとしたところであります。

経済団体の皆様におかれましても、厳しい経済情勢のなかで

はありますが、新規学校卒業者が一人でも多く就職先を決定できるよう、一層の採用枠の確保・拡大に努められますことを切にお願いする次第であります。あわせて、私どもの要請にどうか深い御理解を賜り、会員の皆様にこの趣旨をお知らせしていただきますよう、格別の御配慮をお願い申し上げます。

また、新型インフルエンザに感染した場合の就職選考試験の受験機会の確保につきましても、引き続き御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年11月11日

宮城県中小企業団体中央会

会長 佐伯昭雄 殿

宮城県知事

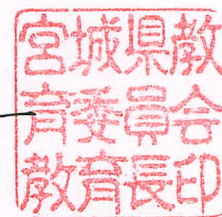
村井嘉浩



宮城県教育委員会

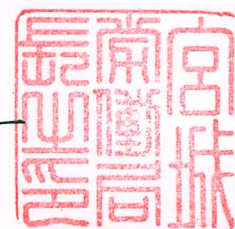
教育長

小林伸一



宮城労働局長

小山浩一



平成22年3月新規学校卒業者の採用枠の確保・拡大に関する要請(手持資料)

高校教育課

本年9月末の就職内定状況

9月末現在の就職内定率は、21.4%で、前年比で12.7ポイント低下した。

・全体の内定率	21.4%	(前年比 -12.7ポイント)
・男子の内定率	25.1%	(前年比 -17.3ポイント)
・女子の内定率	16.7%	(前年比 -8.0ポイント)
・県内希望者の内定率	17.2%	(前年比 -12.1ポイント)
・県外希望者の内定率	43.3%	(前年比 -18.6ポイント)

県内求人状況

宮城労働局の発表によると、9月末現在、県内高卒対象求人数は2,748人で前年同期に比べ、44.3%減少している。

また、県内高卒求人に対する県内高卒求職者の求人倍率は、0.70倍で前年同期を0.40ポイント下回っている。

・県内求人数	2,748人	、	前年同期比	-44.3ポイント
・県内求人倍率	0.70倍	、	前年同期比	-0.40ポイント

他県との比較

厚生労働省の発表によると、9月末現在、宮城県の就職内定率は23.6%で、全国順位が45位で、東北では最下位であった。

宮城県の状況

	求人数 (人)	求職者数 (人)	就職内定者数 (人)	求人倍率 (倍)	就職内定率 (%)
		男女計	男女計		男女計
宮城	2,748	4,724	1,116	0.58	23.6
青森	1,063	4,050	1,227	0.26	30.3
岩手	1,296	3,633	1,438	0.36	39.6
秋田	1,027	2,541	938	0.40	36.9
山形	1,347	2,842	1,000	0.47	35.2
福島	2,438	5,574	1,656	0.44	29.7

求人数 : 県内高卒対象求人数

求職者数 : 県内希望者+県外希望者

就職内定者数 : 県外内定者+県内内定者

求人倍率 : (県内希望者+県外希望者) / 県内高卒対象求人数

就職内定率 : 就職内定者数 / 求職者数